

第1回小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会会議事内容

■ 日時及び場所

日時：令和5年7月28日（金） 10:00～12:00

場所：小平市中央公民館 講座室2

■ 参加者

小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会委員：9名

事務局：教育指導担当部長兼指導課長、文化スポーツ課長、教育総務課長、教育施策推進担当課長、地域学習支援課長、指導課長補佐、指導主事、指導課主事

■ 傍聴者

2名

■ 配布資料

資料1 小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会の概要資料

資料2 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン【概要】

資料3 「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」及び「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」について(概要版)

資料4 小平市立学校に係る運動部活動の方針、小平市立学校に係る文化部活動の方針

資料5 令和4年度 市内部活動一覧

資料6 部活動指導員・外部指導員配置状況

資料7 スポーツ活動・文化芸術活動アンケート案

■ 議事内容（次第に沿って記載）

1 教育委員会あいさつ

教育長挨拶 挨拶後退席

2 委員、事務局自己紹介

各委員挨拶及び事務局紹介

3 委員長の選出、副委員長の選出

○委員長に花田茂氏、副委員長に太田元氏を推薦させていただきたいと考えるが、いかがか。（事務局）

→異議なし。（委員全員）

4 議題

(1) 国、東京都の動向及び小平市の現状の説明

事務局説明省略

○部活動の加入率について全国平均は男子が 83.8%、女子が 87.1%となっており、小平市の男女含めての加入率(87.8%)は高い方にあたるのではないかと。

○部活動指導員と外部指導員の違いについて説明願いたい。(委員長)

→部活動指導員は小平市の会計年度任用職員であり、顧問教員の代わりに部活動指導、引率等を行うことが出来る。一方で、外部指導員は有償ボランティアという立場のため、単独での指導、引率等が出来ず、指導の補助のみとなる。(事務局)

(2)今後の検討委員会の予定

事務局説明省略

○今年度に検討を行うとなると、令和6年度の予算措置に間に合わないのではないかと。また、事務局としては令和6年度に試行的な取り組みを行う予定なのか。(委員)

→事務局としては、今年度の検討委員会と並行して必要に応じて、令和6年度に向けた部活動地域連携・地域移行に関連した取り組みの予算は検討可能である。また、令和6年度の1年間の取り組みについての検討ではなく、長期的な小平市が目指すべき部活動の在り方について議論いただきたい。(事務局)

○外部指導員の内容について教えてほしい。また、現在、どのような方法で外部指導員を確保しているのか。

加えて、小平市の部活動の考えを教えてほしい。例えば、生活指導の一環として部活動を行うのか。又は教員の負担が大きいため外部指導に切り替えたいのか。(委員)

→外部指導員は有償ボランティアの位置付けになる。1時間あたり1,500円になり、謝礼の上限時間は10時間までとしている。

部活動指導員や外部指導員の人材の確保についてだが、学校のニーズもあるため、学校で探してもらっており、学校の伝手や東京都教育委員会が設立した「TEPRO」を利用し、人材を確保している。

小平市の部活動の考えについて示してほしいとのことだが、それを本検討委員会で決めていただく。この後のアンケート案の作成の中で触れる話になるが、教員の長時間労働を契機とし、部活動の地域連携・地域移行の検討が始まった。教員の中には、引き続き部活動指導に関わりたいと考える教員もおり、教員、保護者、生徒に対するアンケートの結果をもって、小平市の方向性を決めていきたい。(事務局)

→以前は生活を安定させるため、また、問題行動を防ぐために部活動指導を生活指導の一環として取り入れていた時期もあったが、現在の小平市

の現状からみると、生活指導の一環としての位置づけというよりは人間性の向上や充実した学校生活を送ることではないか。(委員)

→今後、実施するアンケートの結果をもって小平市の実態が浮かび上がっていくのではないか。また、その結果を踏まえて部活動の在り方について検討していくということによいか。(委員長)

→異議なし。(委員全員)

○今年度検討から外すものの中で、学区域の変更や通学方法の変更が必要なものが挙げられているが、地域の中で生徒が自分に合った部活動・チームを選べるのがメリットではないのか。事務局に伺うが、学校単位での地域連携・地域移行を想定しているのか。それとも、地域の枠組みで想定しているのか。(委員)

→現状、小平市として、部活動を理由に学校を変更することを認めているかについても一緒に伺いたい。(委員長)

→生徒の中には自分の通う中学校にやりたい部活が無いという声を聴く。(委員)

→小平市では部活動を理由とした越境入学は認めていない。(事務局)

→学区域の変更や通学方法の見直しについての話だが、学区域の変更を認めていない点や移動に伴う費用の問題が発生することがある。まずは小平市としての大きな方向性を決めた上で、次年度以降の課題として、学区域の変更や通学方法の見直しについて研究すべき事項と考えている。(事務局)

→地域単位での部活動もよいと思うが、部活動を放課後の居場所としている生徒もいる。生徒自身が通う学校の中に部活動があることによって、学校に居場所がある生徒もいるため、その点も考慮に入れていくべきだと考える。(委員)

(3) アンケート案の作成

事務局説明省略

○生徒、保護者、教員に対してアンケートの狙いを示さないと我々が求める回答が得られないのではないか。また、中学校教員向けアンケートの問2(2)(3)(4)(5)(6)の指導時間等に関することについては、既に小平市の部活動のガイドラインで定められている内容についての質問であり、アンケートから削り、ガイドラインとの整合性をとった方がよい。(委員)

→アンケートの狙いについては前文に記載するというのと、アンケートの設問についてはガイドラインとの整合性を取るということによいか。(委員長)

→オンラインでのアンケートを想定しているため、アンケートの狙いについては工夫をして記載したいと思うが、問2(2)(3)(4)(5)(6)の指導時

間等に関することについては現状を知るために設けている。しかし、設問が多いため、精査する。(事務局)

→中学校教員に対するアンケートについて、問2(1)(2)の教員の指導状況について学校では東京都中学校体育連盟に登録するため、指導はしないが顧問として登録している教員もいる。その場合、現在のアンケート案では教員は答えづらいため、問2(1)の指導している種目に、指導はしていないという項目を新たに設け、平日も休日も学校での指導はないと入れるなどした方がよいのではないか。

また、問2(5)(6)では、休日の指導日数及び時間について質問しており、大会やコンクール等では、休日の指導日数及び時間数は長くなる。設問に大会やコンクール等は除く等の記述を入れた方がよい。

問2(8)の負担感に関することや問7の地域指導者について、2択よりも4択にした方が答えやすい。

問2(9)の負担感に関することについては生徒と関わる時間が取れないといった選択項目を設けてもよいのではないか。

部活動指導員と外部指導員の活用状況に関する設問や今後、部活動指導員や外部指導員の配置を希望するかという質問を設けてもよいのではないか。

中学校生徒向けのアンケートについて、問3(8)の部活動に所属してよかったことについての選択項目の③を体力と競技の向上とした方がよいのではないか。

問3(9)の部活動で困ったことについての選択項目の⑨をやめづらいや転部しづらい等の表現に変えた方がよいのではないか。(委員)

→中学校教員に対するアンケートの問2(5)の休日の指導日数についてだが、大会等を含め休日、最大どの程度指導しているか。それとも、大会等を除いた形で聞くのか。そのあたりについては委員の皆様にご検討していただきたい。また、問2(9)に生徒との関わる時間が取れないという項目を設けた方がよいとのことだが、他に良い表現はないか。(事務局)

→学級の生徒との関わる時間がないというのはどうか。(委員)

○中学校教員に対するアンケートの問3(9)の負担感に関することについての⑩のその他についてだが、記述欄は設けるのか。(委員長)

→自由記述欄を設ける予定である。(事務局)

○中学校教員に対するアンケートの問2(5)(6)の休日の指導日数・時間についてだが、事務局としては大会やコンクールを含めた最大の配置日数・時間数での回答で考えているのか。(委員長)

→問2(5)(6)を試合・コンクールのある週の場合と通常時の週の場合の設問に分ければどうだろうか。(事務局)

→加えて、年間に試合やコンクールがどの程度あるか別に設問を設けると実態が把握しやすいのではないか。(委員)

- 中学校保護者に対するアンケートの問3(2)の月の部費について、部費は前期と後期に分ける場合や年間一括に徴収する場合等が多く、月ごとに徴収することは少ない。分かりやすいよう説明文を入れた方がよい。(委員)
→表現を修正する。(事務局)
- 中学校保護者に対するアンケートの問3(2)の月の部費についてだが、本設問は中学校保護者に対するアンケートに入れるよりは中学校教員に対するアンケートに入れた方がいいのではないか。保護者もどこまでが部費なのか把握していない可能性がある。部費の金額を正確に把握している教員に聞けば保護者に聞く必要はないだろう。また、小学校・中学校の保護者に対するアンケートの問4(1)及び中学校教員に対するアンケートの問6(1)では、部活動地域連携・地域移行に対する賛否を聞いているが、結果によっては検討するにあたって動きづらくなるのではないか。そのため、この設問は削除してよい。(副委員長)
→動きづらくなるということであれば、削除について検討したい。(事務局)
→ある程度方向性が決まった段階で地域連携・地域移行の方向性に対する賛成か反対か聞いた方がよいのではないか。(副委員長)
→まずはこの検討委員会で方向性を決まった段階で、パブリックコメントで方向性に対する意見を頂戴する方がよいのではないか。(委員)
→「地域クラブ等」とあるが、民間のクラブチームと間違える人もいると考える。(委員)
- 小学校5・6年生に対するアンケートで、中学校の部活動を楽しみにしているかという設問を設けるのはどうか。また、中学校生徒及び保護者に対するアンケートで、現在の部活動に対する満足度についての設問を設けるのも将来的にみて良いのではないか。
中学校生徒に対するアンケート問3(9)の部活動で困ったことに関することについて、生徒たちの本音を引き出せるような内容にした方がよい。
また、保護者が部活動に対して何を期待しているか聞いてみるとよい。
中学校生徒に対するアンケート問3(8)(9)の部活動で良かったこと・困ったことに関すること及び(10)(11)の地域クラブ等で良かったこと・困ったことに関することで選択項目の内容が異なっている。項目は統一した方がいいのではないか。(委員)
→中学校の部活動に対する期待については、部活動が地域連携・地域移行に関係した設問か精査する必要がある。また、部活動の満足度についても、満足度の理由は多岐に渡る。例えば、生徒同士のトラブルや顧問との関係が悪い等、様々な理由があり、部活動の地域連携・地域移行の観点としては参考にしづらい数値となるのではないか。(委員)
- 何のためのアンケートなのか示さないと 回答者は何を聞かれているのか分からない。(委員)
→小平市の部活動地域連携・地域移行を決めるのは、本検討委員会ではある

が、「国や都では部活動地域連携転と地域移行を進めており、これを踏まえて、小平市においても検討を始めました。就いては、アンケートにご協力ください。」という形で説明する。(事務局)

→事務局からの提案内容についてどうか。(委員長)

→異議なし。(委員全員)

5 その他

○次回、検討委員会は9月下旬を予定している。再度、日程調整を行う。(事務局)

○タイトな日程のため、アンケート修正等は、事務局に一任というかたちでも構わないか。(事務局)

→異議なし。(委員全員)

以上